



卵子提供の多様性 ～卵子の交換とシェアリング～

ブラジルでは35歳までの女性なら卵子のドナーとなることが認められています。卵子のドナーも提供を受ける側も匿名を原則としています。一般に医師は卵子バンクから母親となる女性と同じ人種の中から卵子を選び出します。

第三者の女性から卵子の提供を受けて治療することが認められるのは、40歳以上の女性や下記のような医学的理由が認められる場合です。

- ・抗がん剤治療による卵巣機能の低下。
- ・手術による卵巣の切除。
- ・更年期による卵子の減少。
- ・卵子が存在しない。
- ・体外受精によって妊娠に至らず、その原因が卵子にある。

● 多様な卵子提供が認められる時代

【卵子交換提供Doação cruzado】

卵子バンクで卵子が不足するのを防ぐために生まれた方法です。ある患者が卵子の提供を受ける代わりに、自分の親戚などを連れて行き、卵子を卵子バンクに提供します。

卵子バンクから卵子の提供を待つ人は少なくなく、この方法なら多くの人がよりスムーズに治療を受けられます。

【卵子シェアリングDoação compartilhada】

2017年にブラジルでも認可された方法です。患者が採卵する際、採取できた卵子の半分を他の患者に提供します。体外受精の費用の半分は、卵子の提供を受けた患者が負担します。そうすることで、体外受精の費用を安くすることができます。

医学的には若い患者から採卵する場合、卵子全体の3分の2は治療と凍結保存に、3分の1は他者へ提供できると考えられています。

※フェルチクリンの中野英二医師にお話をいただきました。



《体外受精（顕微授精）の様子》

フェルチクリン FERTICLIN

Av. Indianópolis, 1960 - Planalto Paulista- São Paulo - SP

Tel: (11) 5581-2045 / 5581-3566

www.ferticlin.com.br / contato@ferticlin.com.br

